

アユ釣り解禁初日に多くの釣り人が「初物」を釣り上げた
相模川の座架依橋周辺



「初物」釣果は上々

相模川や早川など県内の主要河川で1日、アユ釣りが解禁された。厚木、海老名の市境を流れる相模川の座架依橋付近では、時折水面を跳ねる「初物」を狙った釣り人たちが大勢訪れ、竿（さお）を巧みに動かし、次々と釣り上げていった。アユ漁は10月14日まで。

相模川漁業協同組合連合会（木藤照雄代表理事長）によると、今年3月から5月24日までに2千万匹を超えるアユの遡上（そじょう）が確認されている。各ポイントを見て回った木藤会長は「ルアー釣りが絶好調で初心者でも釣りやすいほど魚影が濃い。これから水温が上昇してくれば環境はさらによくなる」と期待していた。

午前4時半から約150匹を釣り上げていた、海老名市の鈴木章さん（77）は「解禁日を楽しみにしていた。初日にはサイズも大きい。天ぷらにして食べたいですね」と表情を崩していた。

（浅川 将道）

相模川などアユ釣り解禁